

2014年3月期
第2四半期決算説明会

2013年11月11日
株式会社 ユタカ技研

ご説明内容

Ⅰ．2014年3月期 第2四半期累計 決算概況

Ⅱ．2014年3月期 見通し

Ⅲ．事業状況

2014年3月期

第2四半期累計 決算概況

14年3月期第2四半期累計　連結決算概況

（単位：億円）

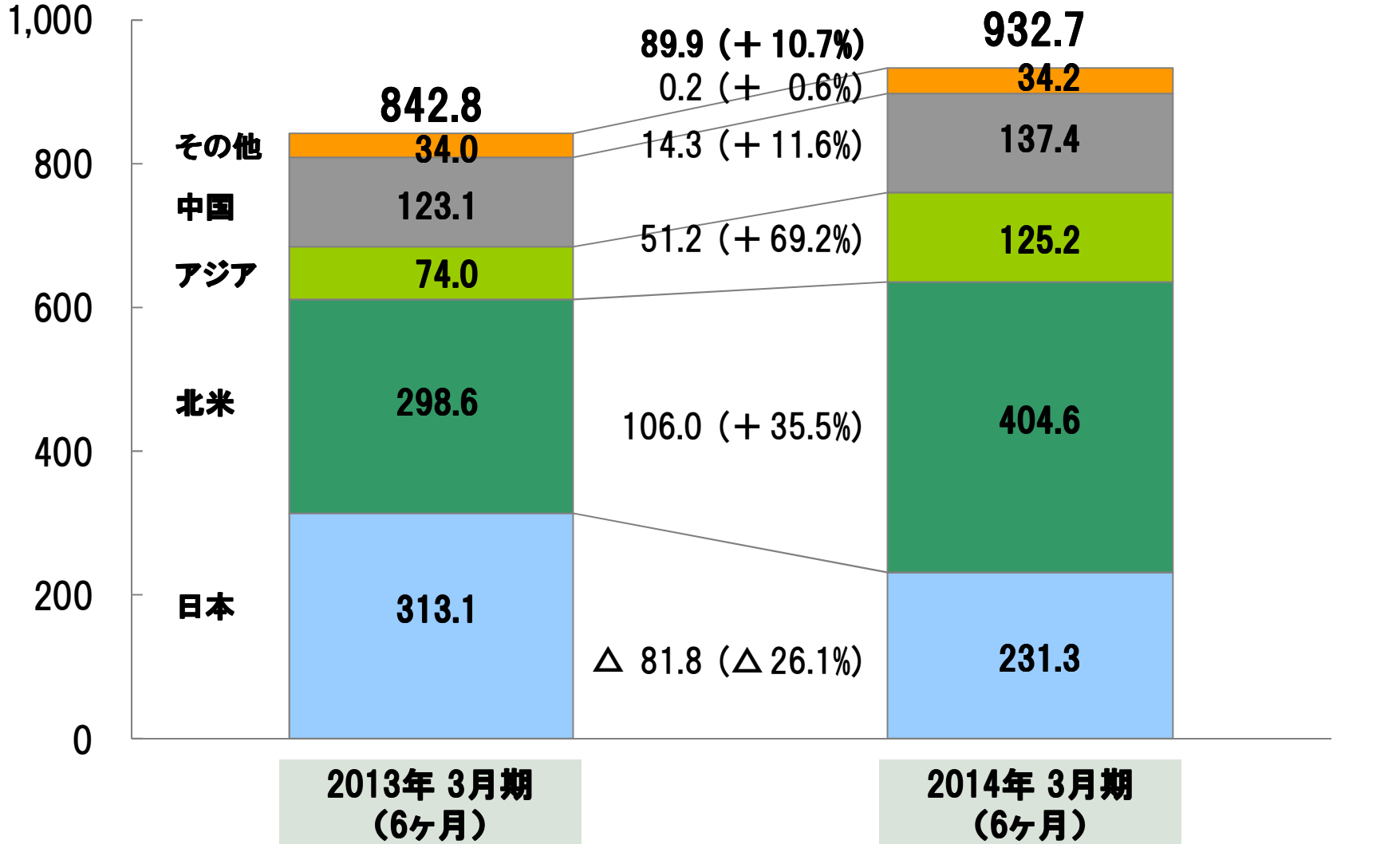
	2013年 3月期（6ヶ月）	2014年 3月期（6ヶ月）	増　減
売上高	842.8	932.7	10.7 %
営業利益	41.7	53.6	28.4 %
経常利益	39.0	56.0	43.4 %
四半期純利益	21.0	33.0	57.3 %
1株当り四半期純利益	141.73円	222.94円	81.21円
1株当り中間配当金	18.0 円	19.0 円	1.0 円
	($1=¥79)	($1=¥98)	

海外市場における受注増加及び円安効果により増収増益

14年3月期第2四半期累計　連結決算概況　地域別売上高

（単位：億円）

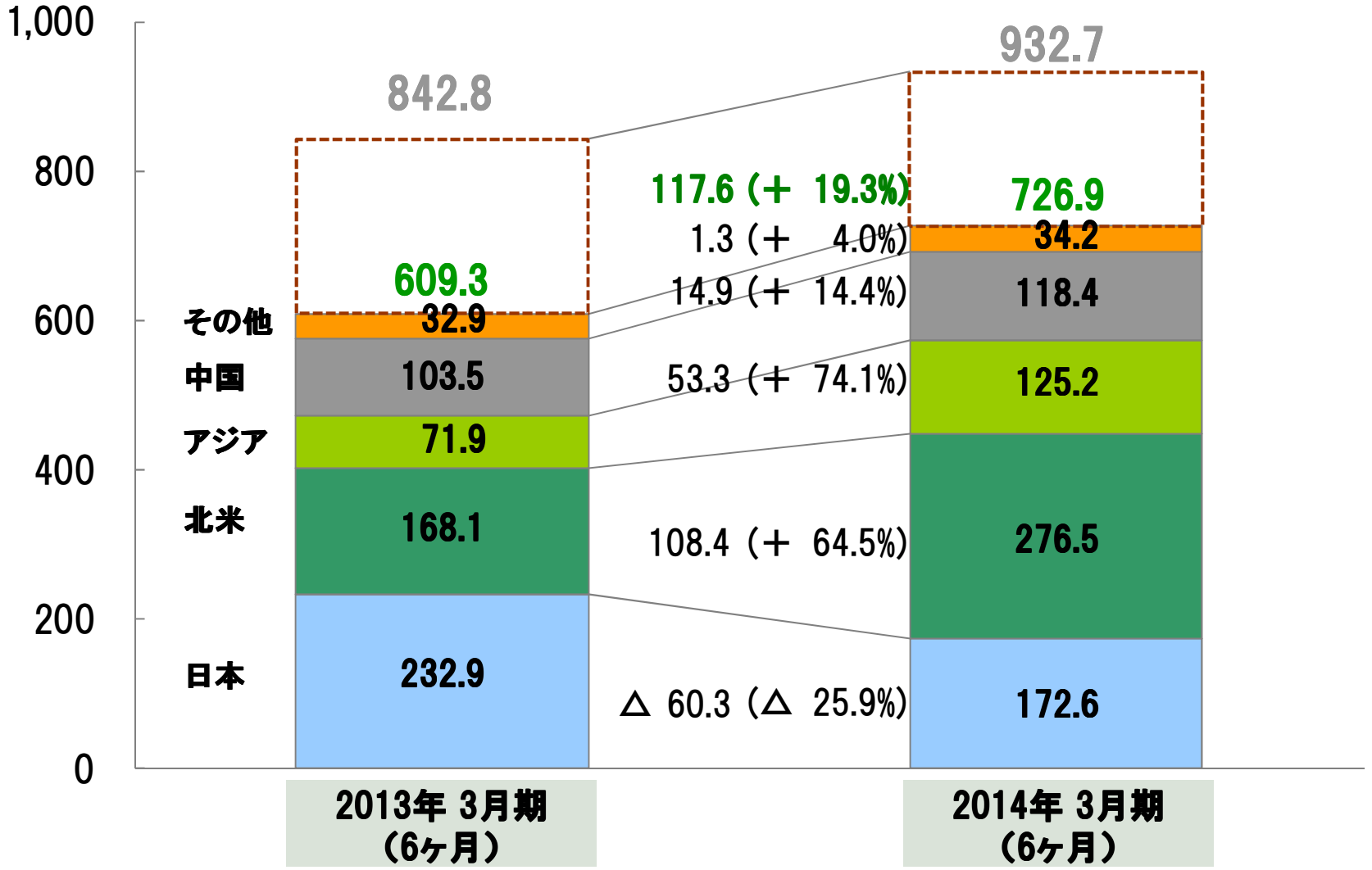
（セグメント間の内部売上高及び振替高を除く）



海外（主に北米・アジア）は受注増加により大幅増収

14年3月期第2四半期累計　連結決算概況　地域別売上高

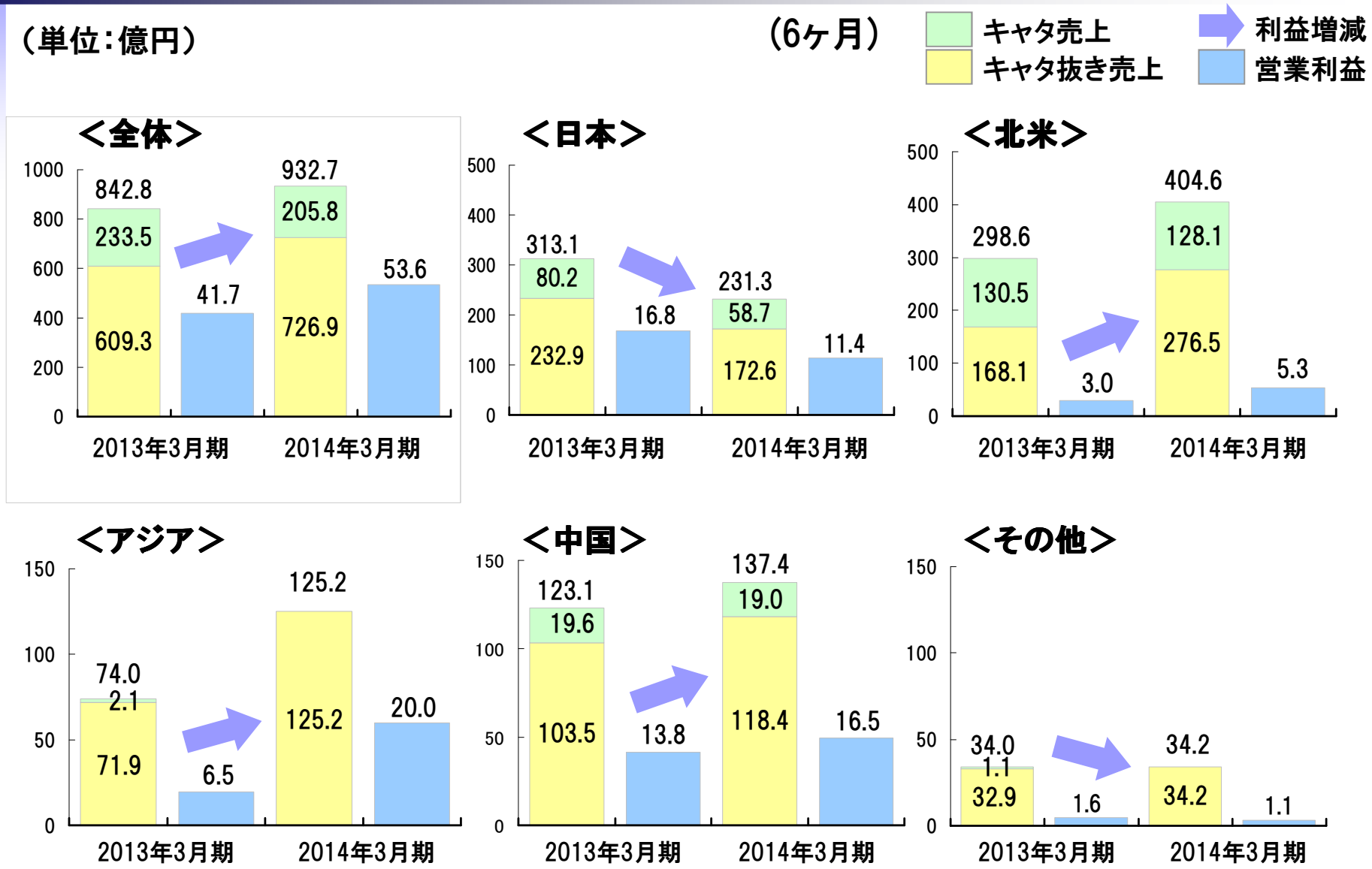
（単位：億円）　　（キャタリスト抜き）



キャタリスト抜きでも海外（主に北米・アジア）で増収

14年3月期第2四半期累計　連結決算概況　地域別営業利益

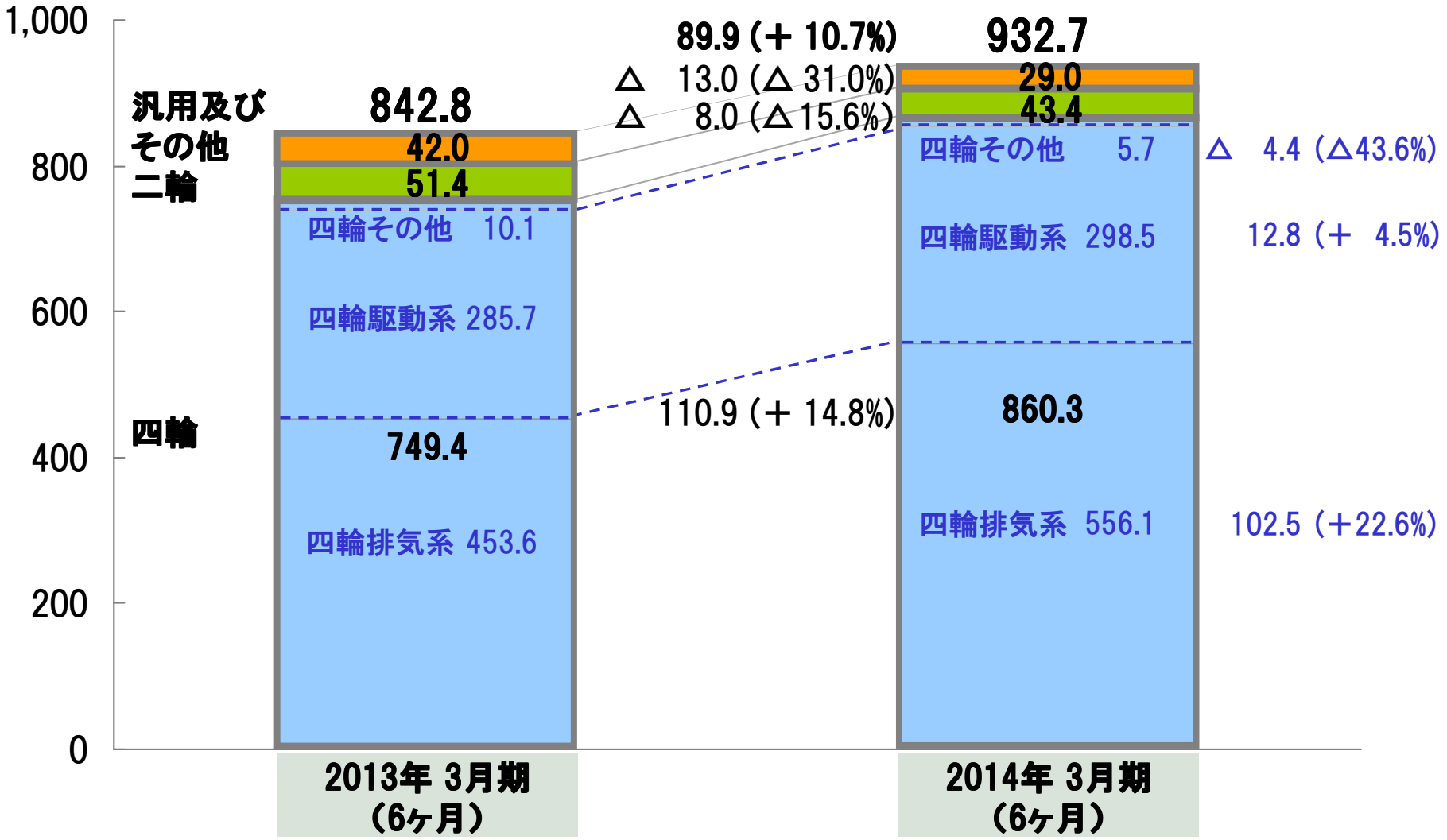
（単位：億円）　（6ヶ月）



増収効果により海外（主にアジア・中国・北米）は増益

14年3月期第2四半期累計　連結決算概況　製品別売上高

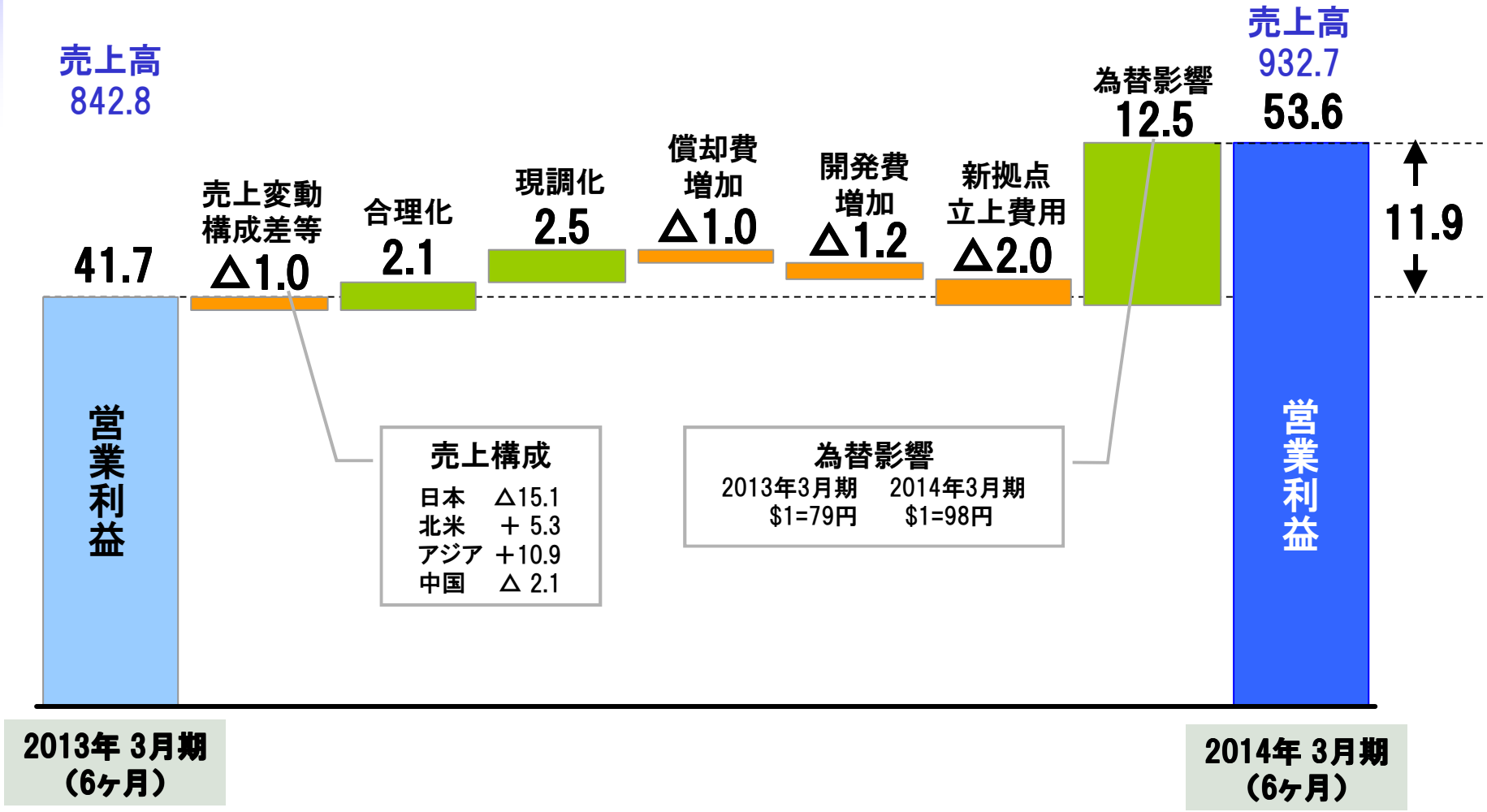
（単位：億円）



海外における四輪の受注増加により増収

14年3月期第2四半期累計 連結決算概況 営業利益 増減要因

（単位：億円）



国内の減収影響が大きく、売上変動はマイナスとなったものの
円安効果に加え合理化・現調化効果でリカバリーし増益

2014年3月期
通期見通し

14年3月期連結見通し

（単位：億円）

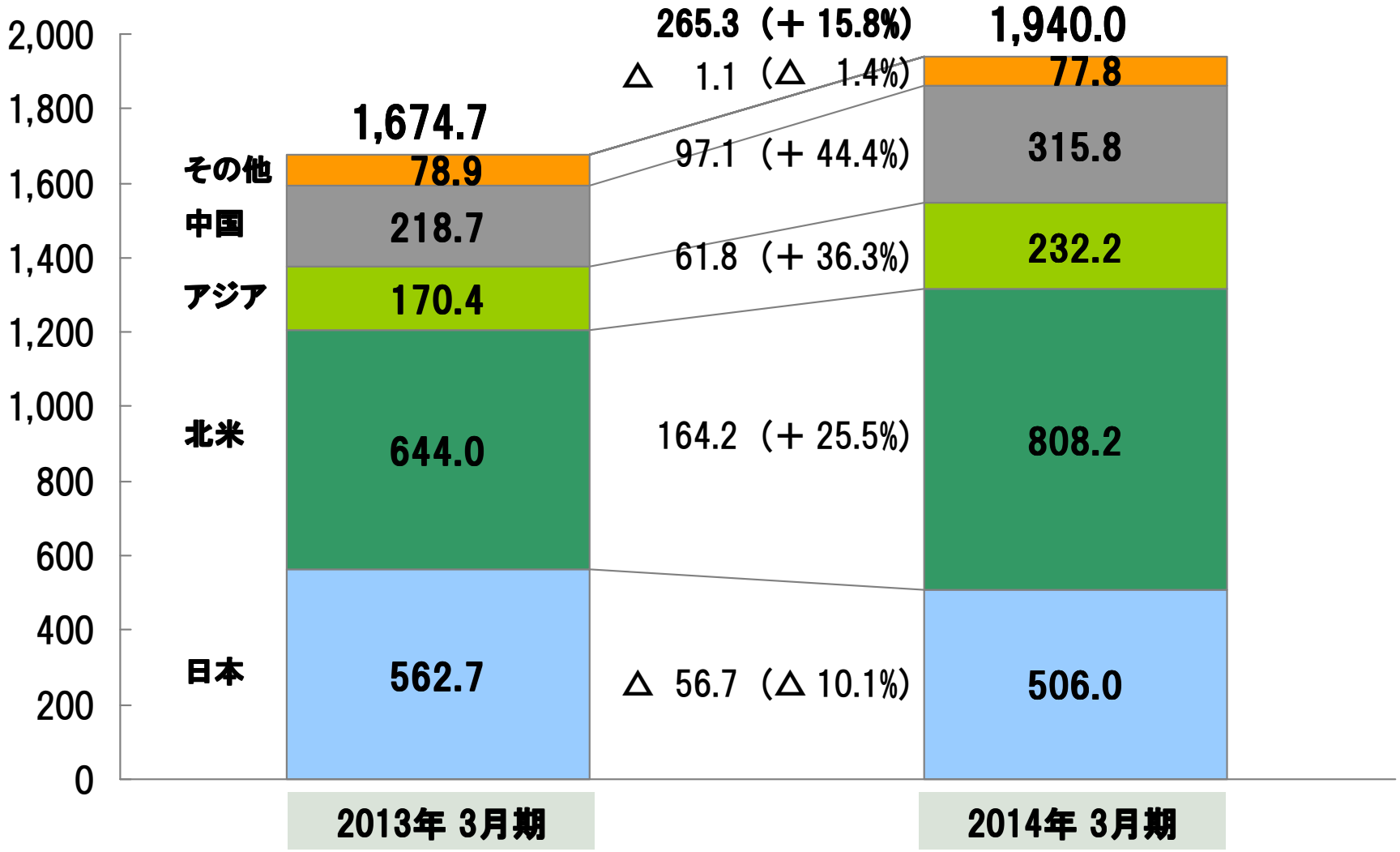
	2013年 3月期	2014年 3月期	増　減
売上高	1,674.7	1,940.0	15.8 %
営業利益	68.4	104.0	51.9 %
経常利益	75.2	108.0	43.5 %
当期純利益	38.9	54.0	38.6 %
1株当り当期純利益	262.98円	364.40円	101.42円
1株当り配当金	36.0 円 ＊中間 18円，期末 18円	38.0 円 ＊中間 19円，期末予想 19円	2.0 円
	($1=¥82)	($1=¥96)	

下期も海外での受注増加及び円安効果が継続し、通期でも増収増益

14年3月期連結見通し 地域別売上高

（単位：億円）

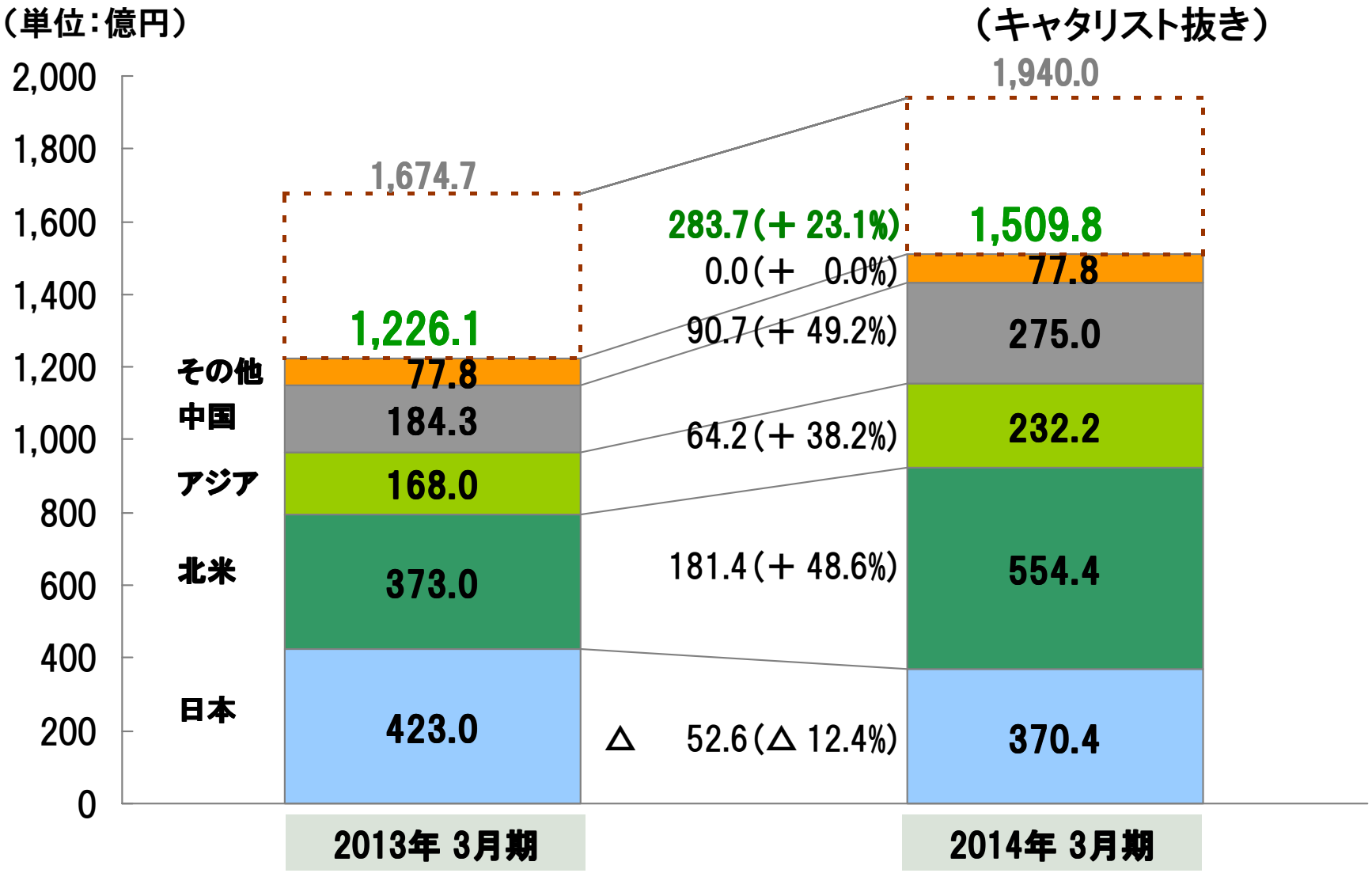
（セグメント間の内部売上高及び振替高を除く）



通期も海外（北米・中国・アジア）で増収見通し

14年3月期連結見通し 地域別売上高

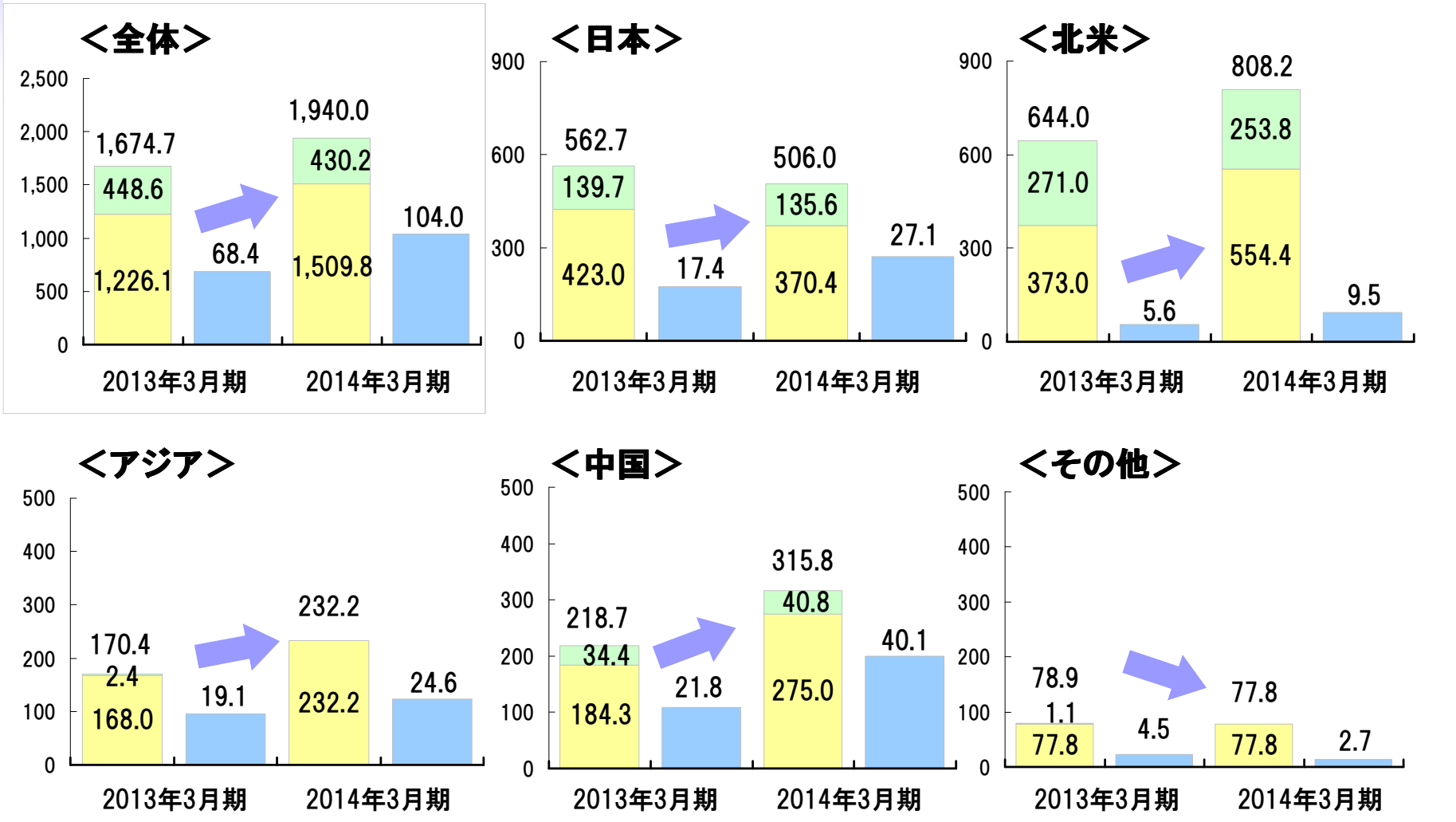
（単位：億円）



キャタリスト抜きでも海外（主に北米・中国・アジア）で増収見通し

14年3月期連結見通し 地域別営業利益

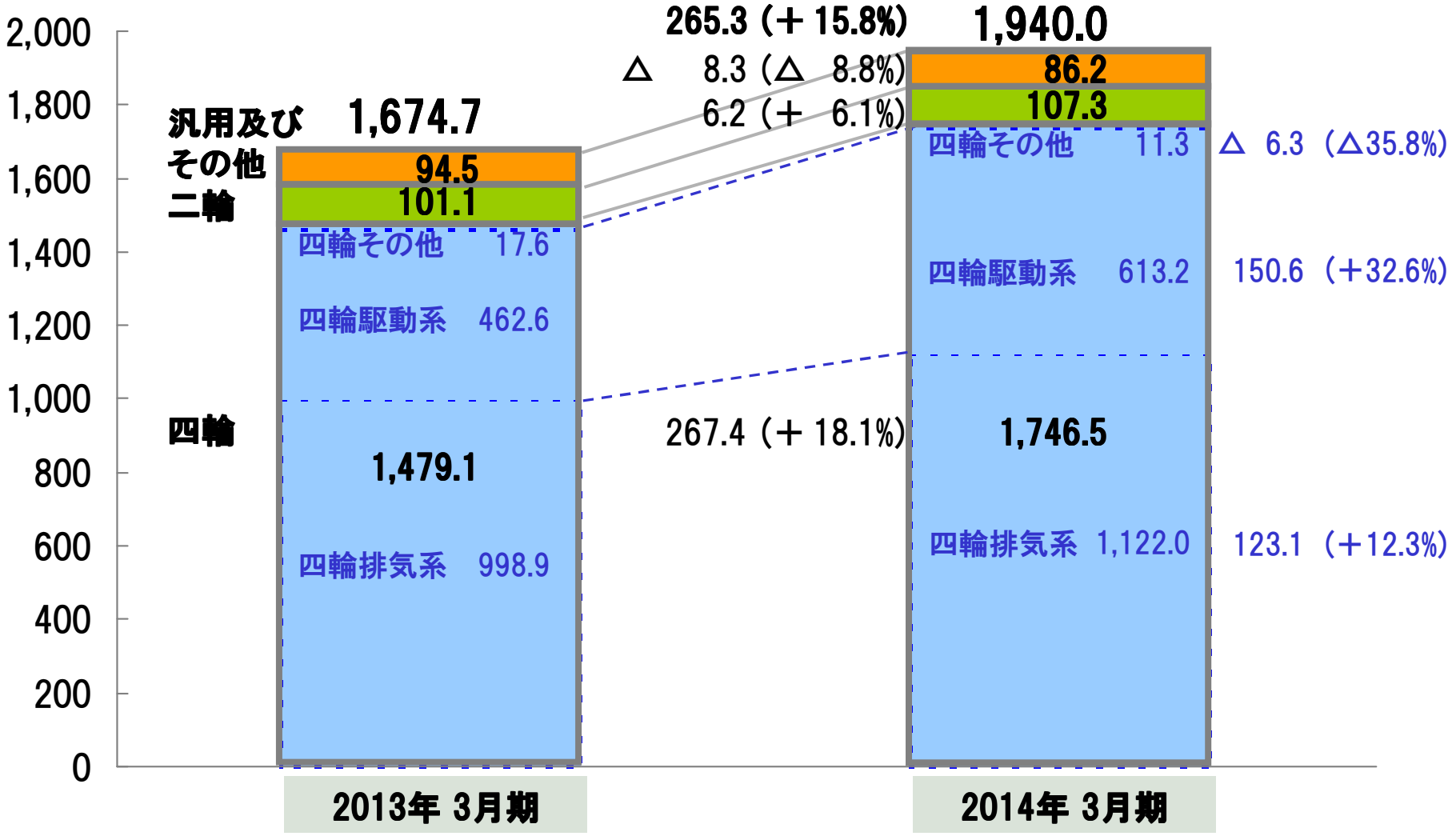
（単位：億円）



日本も回復し、概ね全地域で増収増益

14年3月期連結見通し 製品別売上高

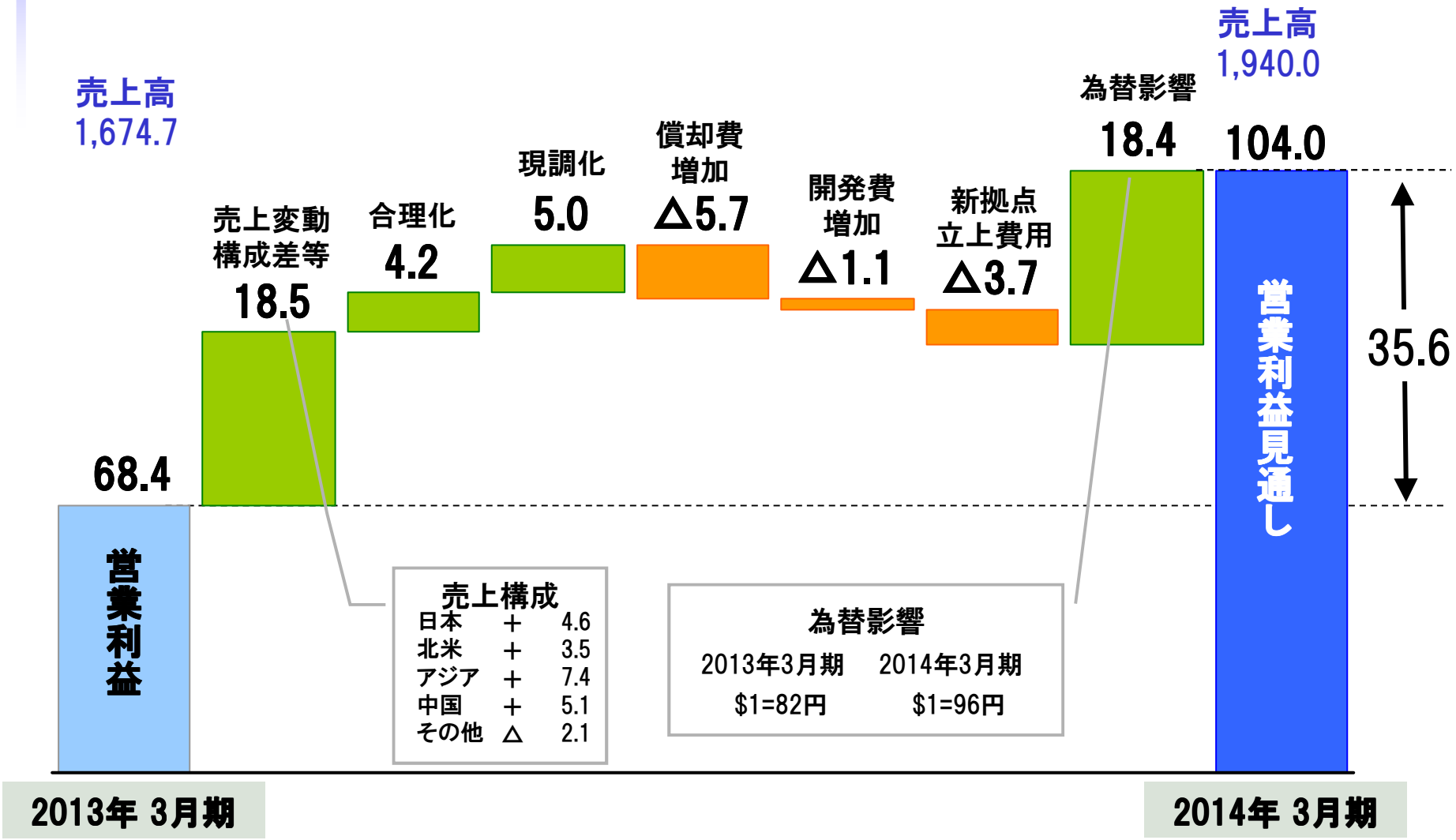
（単位：億円）



通期も海外における四輪の受注増加により増収

14年3月期連結見通し 営業利益 増減要因

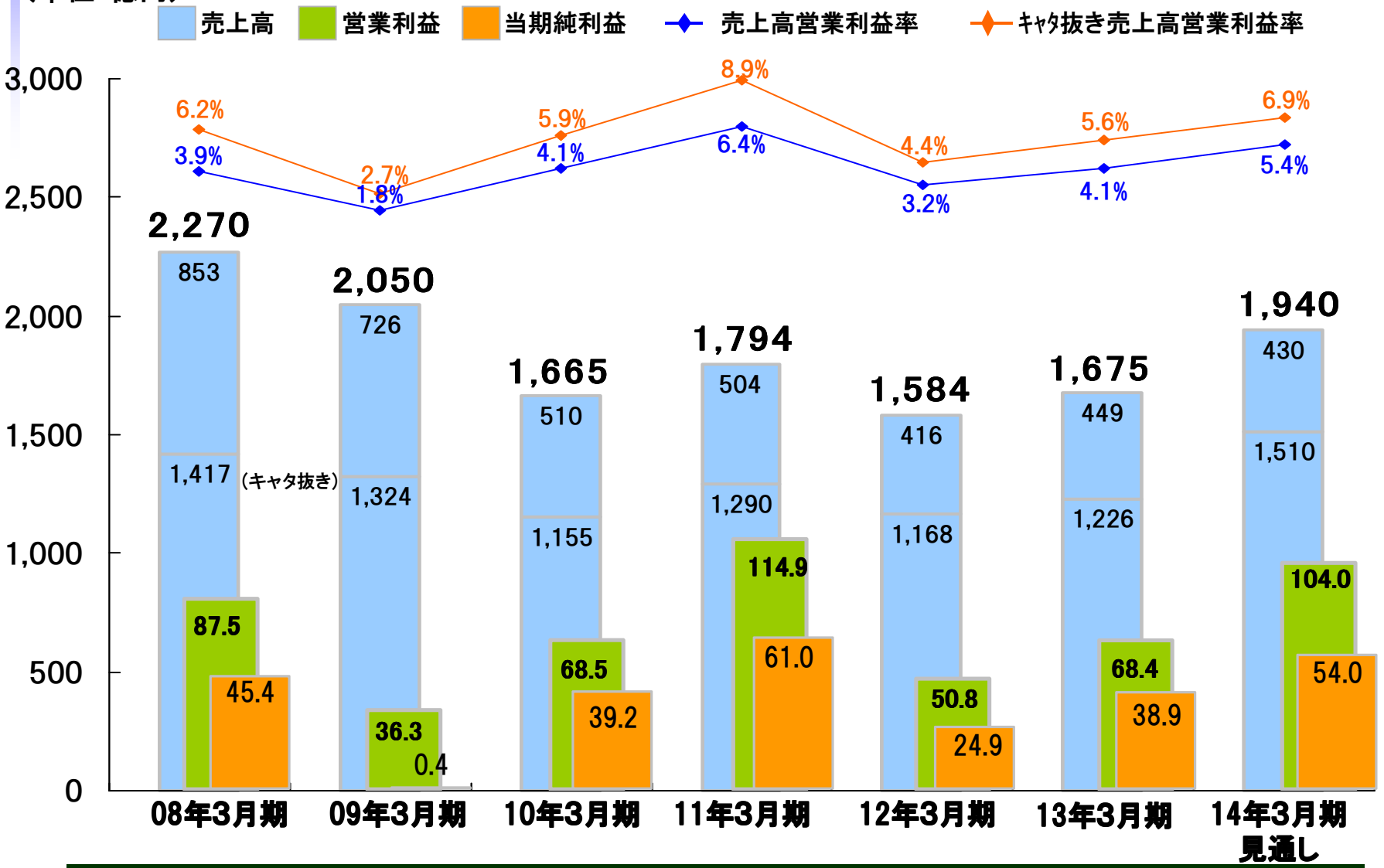
（単位：億円）



円安効果・現調化効果等に加え、売上変動も寄与し大幅増益

14年3月期連結見通し 売上及び利益の推移

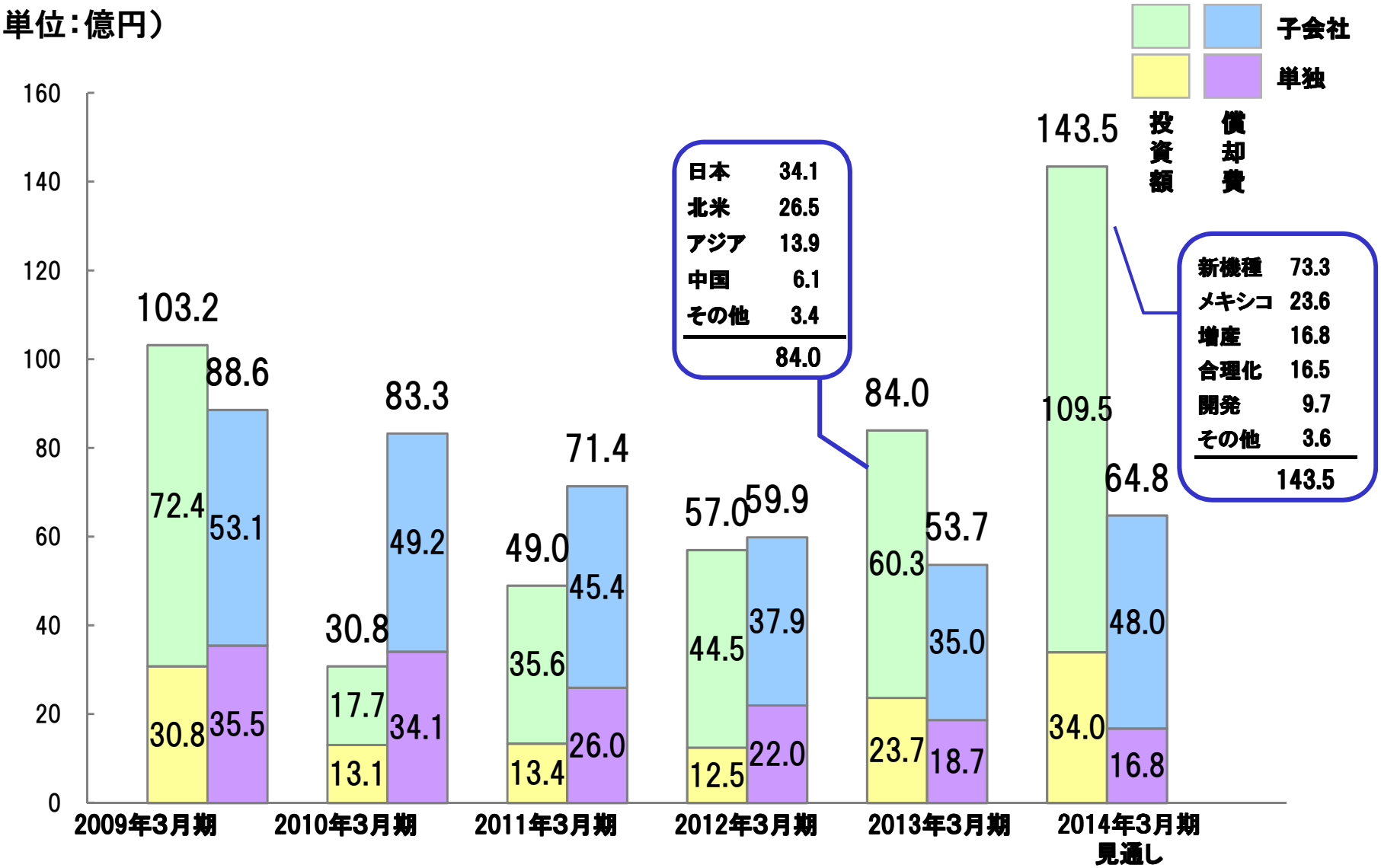
（単位：億円）



震災・洪水等の影響が解消し、利益は震災前の水準に回復

14年3月期連結見通し 設備投資額の推移

（単位：億円）

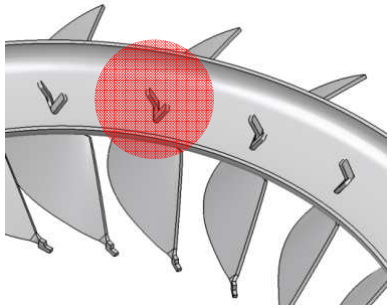


新機種・メキシコへの投資に加え、円安影響により投資額が増加

事業状況

新開発CVT用トルクコンバータ





ブレードセット技術を進化

ブレード・コア接合方法を溶接からカシメに変更し、熱歪みを無くすことで、シェルへのセット性を向上し、生産品質の向上を図る

Yutaka独自の開発力・技術力

- 最適パッケージングレイアウトによるトルコンサイズダウン
- サイズダウン（Φ222⇒Φ208）による軽量化
- 1.3L/1.5Lの部品共用化でコストダウン達成
  （23部品中22部品を共用）

		08モデルFIT	14モデルFIT
薄幅化	1.3L	67.9mm	66mm
	1.5L	67.8mm	
軽量化	1.3L	7.3kg	7.4kg
	1.5L	8.8kg	

- ブレード／コア接合技術の進化（カシメ接合）
- グローバル最廉価調達（材料・購入品・組立）
- 生産ライン省人化によるコスト体質改善

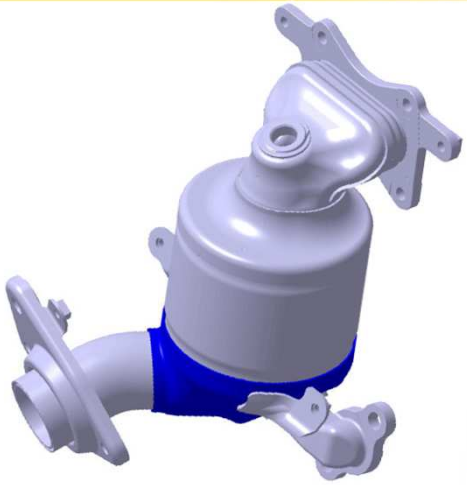


2013年9月発売　新型FITに搭載

培ってきた技術を進化させ、「薄幅化」「軽量化」「コストダウン」を実現

Yutaka新製品のご紹介　＜主幹製品の進化＞

新開発直下排気コンバータ

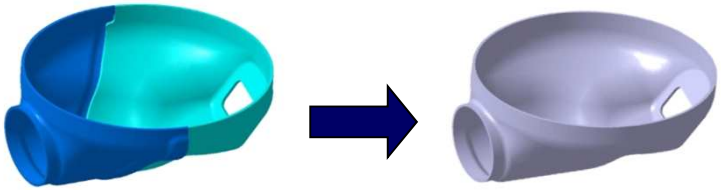


Yutaka独自の開発力・技術力

・CAEによるプレス成形工程の最適化

		08モデル FIT	14モデル FIT
薄板化	フロントコーン	t2.5	t2.0
	リアコーン	t2.5	t1.5
軽量化	製品	1.28kg	1.03kg

リアコーン溶接レスプレス一体化構造による部品点数の削減



〔2分割　溶接構造〕　〔プレス一体化構造〕

・溶接レスによる強度向上と部品点数削減
・プレス一体化構造による高品質・高性能・廉価仕様の確立

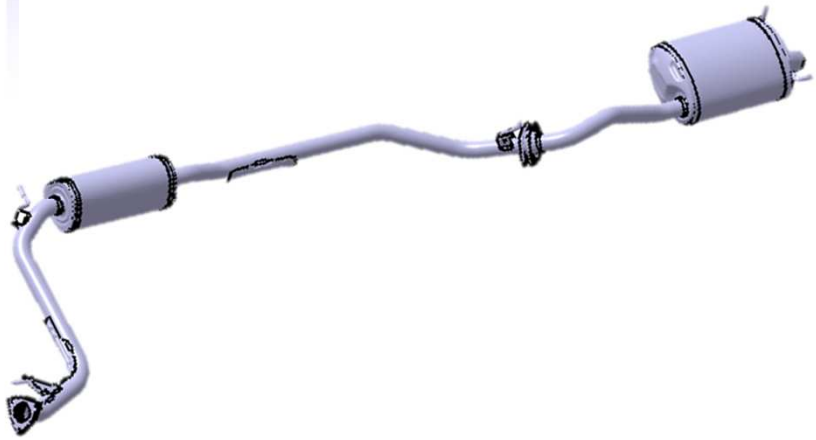


2013年9月発売　新型FITに搭載

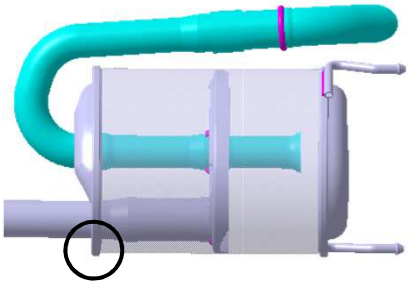
プレス一体化構造により「薄板化」「軽量化」「強度向上」を実現

Yutaka新製品のご紹介　＜主幹製品の進化＞

新開発サイレンサー



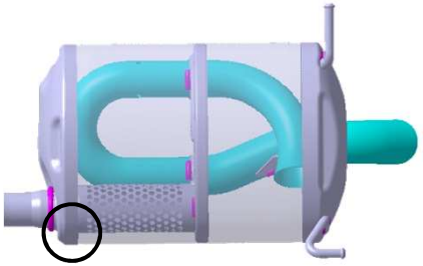
08モデルFIT



〔カシメ接合〕

14モデルFIT

〔テールパイプ内臓化〕



〔レーザ接合〕

- 新開発消音器構造採用により、軽量化を実現
- レーザ接合採用により、空力特性向上・軽量化を実現

Yutaka独自の開発力・技術力

- プレス/ベンダー/溶接技術を駆使し、材料薄板化を実現し、軽量化に大きく貢献
- 『軽量化と消音性能向上』を両立

	08モデルFIT	14モデルFIT	効果
軽量化	9.457kg	8.253kg	△13%



2013年9月発売　新型FITに搭載

プレス・ベンダー・溶接技術を駆使し、「軽量化」「消音性能向上」に貢献

メキシコ新拠点YDM 操業準備状況

北米地域の自動車市場拡大への対応と、北米地域における更なる競争力強化を図るため
新たにメキシコ新拠点YDMを設立





設　立　　：2012年3月
資本金　　：343百万墨ペソ
（27百万米ドル相当）
操業開始日：2014年1月予定
生産品目　：トルクコンバータ、
排気一貫システム

プレスライン



トルコンろう付けライン







事務所内



排気系部品組み立てライン

全体の95%の設備設置が完了し、2014年1月の操業開始に向け着実に推進中


YUTAKA
Clean for the Future